



## ユーザの挿入

---

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、ユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager ディレクトリに追加することができます。

### Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入

ユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager ディレクトリに追加する手順は、次のとおりです。

#### 始める前に

ユーザ名、制御対象のデバイス名、および電話番号が格納されている CSV データ ファイルが必要です。この CSV データ ファイルは、次のいずれかの方法で作成できます。

- BAT スプレッドシートを CSV 形式に変換する。
- エクスポート ユーティリティで、ユーザデータのエクスポート ファイルを作成する。

エクスポート ユーティリティを使用して生成したファイルを挿入する場合は、`_MgrLevel#` サフィックスに基づいて、降順でファイルを挿入します。ここで、`#` は 1 ~ 20 です。[マネージャのユーザ ID] フィールドでマネージャのユーザ ID が使用される前にマネージャのユーザ レコードが配置されるようにするために、`_user` サフィックスを持つファイルは最後に挿入します。

#### 手順

---

**ステップ 1** [一括管理] > [ユーザ] > [ユーザの挿入] の順に選択します。

[ユーザの挿入 (Insert Users Configuration)] ページが表示されます。

**ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

**ステップ 3** エクスポート ユーティリティを使用して作成した CSV データ ファイルの場合は、[ユーザのエクスポートで作成したファイル (File created with Export Users)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] ドロップダウン リスト ボックスから、挿入に使用するユーザ テンプレートを選択します。



(注) ユーザ デバイス プロファイル、コントロール デバイス名、および電話番号は、すでに Cisco Unified Communications Manager データベースに存在する必要があります。

**ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 6** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に挿入するか、[後で実行] をクリックしてユーザ レコードを後で挿入します。

**ステップ 7** [送信] をクリックして、ユーザ レコードを挿入するジョブを作成します。

**ステップ 8** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 63 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.64-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。



(注) ユーザを挿入するために CSV ファイルに入力したフィールド値によって、ユーザ テンプレートに設定された値が上書きされます。



(注) エクスポートした BAT ファイルを使用してユーザを挿入している場合、複数のファイルにエクスポートされたユーザについて、「ユーザ ID がすでに存在している」というエラーが表示されることがあります。たとえば、1 つ目の回線マネージャのリストとユーザのリストが、どちらも同じマネージャ ユーザ ID を含んでいることがあります。

### その他の項目

詳細については、[P.17-2 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- [新しい BAT ユーザ テンプレートの作成 \(P.16-3\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートのフィールドの説明 \(P.16-6\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入 \(P.17-1\)](#)